

慶應義塾における理論経済学の伝統：参考資料

福田徳三 1874(明治7)～1930(昭和5)

1894(明治27)年高等商業学校(現一橋大学)卒業後、神戸商業学校教諭となる。1年後、高商研究科へ進学、1896(明治29)年卒業。1898(明治31)年にドイツ・ライプチヒ大学、ミュンヘン大学等へ留学。1901(明治34年)11月から母校(東京高等商業学校と改称)で経済原論・経済史を担当するも、校長と衝突し、退官。1905(明治38)年10月から、慶應義塾教員として迎えられ、1918(大正7)年まで経済学・日本経済史を担当した。1918(大正7)年に東京高商へ復帰した。『経済学全集』全9巻ほか。



小泉信三 1888(明治21)～1966(昭和41)

父は慶應義塾長であった信吉(のぶきち)。1902(明治35)年、慶應義塾普通部に編入学、大学部では政治科にすすんで福田徳三に学ぶ。1910(明治43)年に教員に採用。経済学部教授として経済原論・経済史・社会問題などを講ずる。1934(昭和9)年『リカアドオ研究』で経済学博士。1933(昭和8)年から塾長を13年余にわたり在任。1945(昭和20)年に戦火で重傷を負う。東宮(今上天皇)教育参与。『小泉信三全集』。



寺尾琢磨 1899(明治32)～1984(昭和59)

1924(大正13)年経済学部卒業、大正15年経済学部助手・大学予科講師として就任。助教授、高等部教員を経て1934(昭和9)年、教授。経済学部長・経済学研究科委員長(1957～59)、初代高等学校長など塾内要職を歴任。1969(昭和44)年、名誉教授。小泉信三門下としても知られ、1929(昭和4)～1932(昭和7)年からベルリン・パリ両大学に留学、統計学・人口学を研究。1950(昭和25)年経済学博士。日本統計学会・日本人口学会会長、人口問題研究会理事長などを歴任。著書に『統計学の理論と方法』『人口理論の展開』、訳書にマルサスの『人口論』など。



永田清 1903(明治36)～1957(昭和32)

1927(昭和2)年経済学部卒業。1935(昭和10)年、慶應義塾大学教授。1939(昭和14)年東京帝国大学講師。戦後1948(昭和23)年から実業家へ転じ、日本ゴム(株)取締役社長をはじめ、1949(昭和24)年福岡製紙(株)取締役社長、1951(昭和26)年サンフランシスコ講和会議全権団顧問、同年、日新製糖(株)取締役社長、1956(昭和31)年、日本放送協会会長などを歴任した。



小池徳太郎 (基之) 1908(明治 41)～1995(平成 7)

1931(昭和 6)年経済学部卒業、助手となる。助教授を経て 1945(昭和 20)年、教授。経済学部長・経済学研究科委員長(1961-1963)、義塾常任理事(1964-65)。1973(昭和 48)年、名誉教授。専門は農業経済学で、資本主義における土地所有の論理等について研究を進められた。1953(昭和 28)年、ヨーロッパに留学。『地主制の研究』(1957)、『日本農業構造論』(1958)により、経済学博士。土地制度史学会の理事・監事、日本経済学会連合の理事、社会経済史学会評議員などを務めた。



氣賀健三 1908(明治 41)～2002(平成 14)

父は慶應義塾理財科(現経済学部)で堀江帰一と双璧といわれた氣賀勘重。1930(昭和 5)年、経済学部卒業、助手となる。助教授を経て 1942(昭和 17)年、教授。ビジネス・スクール校長、経済学部長・経済学研究科委員長、義塾常任理事(1960-1964)などを歴任、1974(昭和 49)年、名誉教授。専門は経済政策学(ソ連経済)。著書に『ソビエト経済の研究』のほか多数。1964(昭和 39)年『社会的進歩の原理』で経済学博士。ソ連・東欧学会代表理事、日本政策学会常任理事などを務めた。



千種義人 1911(明治 44)～2000(平成 12)

1937(昭和 12)年、経済学部卒業、助手となる。助教授を経て 1949(昭和 24)年教授。慶應義塾高等学校校長などを務めた。1977(昭和 52)年、名誉教授。著書に『計画経済原論』、『経済学入門』など多数。1960(昭和 35)年『資本主義計画経済の研究』により経済学博士。



福岡正夫 1924(大正 13) 生まれ

1947(昭和22)年、経済学部卒業、助手となる。1960(昭和35)年教授。経済学部長・経済学研究科委員長(1973～75)、義塾常任理事(1977～81)などを歴任、1990(平成 2)年、名誉教授。理論・計量経済学会(現日本経済学会)会長(1977)。1970(昭和55)年、経済学博士。著書に『一般均衡理論』、『貨幣と均衡』、『経済学と私』、『ゼミナール経済学入門』、『ケインズ』、『歴史のなかの経済学』、『均衡分析の諸相』など。



本資料は 慶應義塾福澤研究センターおよび氣賀家提供の資料・写真に基づき、福岡ゼミナール三田会事務局でまとめたものである。